

# 安全報告書

(2014年4月～2015年3月)



阪堺電気軌道株式会社

## 1. 利用者はじめ地元の皆さんへ

いつも阪堺電車をご利用いただきまして、ありがとうございます。また、平素より当社の軌道事業に対して、ご理解をいただき感謝申しあげます。

当社は、大阪で唯一の路面電車であり、お客様に「**安全・安心**」をご提供できるよう、安全最優先の企業風土を醸成するとともに、安全に関連する設備投資や異常発生時の訓練、ヒヤリハット情報による事故の未然防止等、継続的に安全対策を実施しております。

平成26年度（2014年）においても、堺市および堺市民のみなさまをはじめ多くの方々にご支援を賜り、2月に新停留場（石津北停留場）が営業を開始、3月には低床式車両（LRV）の3両目1003号「青らん」が運行を開始することができました。

皆さんには心からお礼を申し上げます。

なお、本報告書は、軌道法に基づき、輸送の安全確保の取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さんからのご意見を輸送の安全に役立てて参りたいと存じますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

阪堺電気軌道株式会社  
取締役社長 外濱 道明

## 2. 基本方針と安全目標

### （1）基本方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行なえる体制の整備に努めるとともに、軌道施設、車両および社員を総合活用して輸送の安全を確保するために「安全管理規程」を定め、会合など機会あるごとに全員で基本方針を朗唱し、社長以下従業員全員に周知・徹底し取り決めて活動いたしております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である
- ④ 事故・災害時は人命救助を最優先とし、迅速に行動する
- ⑤ 常に状況の把握に努め、情報は迅速・正確に伝える
- ⑥ 常に問題意識を持ち、業務改善に努める

## (2) 安全目標

2014年度の安全目標は次のとおりとし、安全管理規程に定めた安全方針に基づき、様々な安全性向上施策に取組んでいます。

その結果、2014年度も安全目標を達成いたしました。

今後ともお客様への「安全・安心」を確実なものとするため、これまでの取り組みを継続しつつ「輸送の安全」の確保に向けての取組みを積極的に実施していきます。

区分	項目	内容	2014年度実績
定量的な目標	重大責任事故	「0」件とする。	「0」件
	労働災害事故	「0」件とする。	「0」件
	取扱ミスによる輸送障害	「0」件とする。	「0」件

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### (1) 軌道運転事故

道路障害(併用軌道において、道路を通行する人または車両等と接触する事故)により、電車運行に乱れを生じさせご利用のお客さまをはじめ、多くの方々に大変ご迷惑をおかけしました事を、深くお詫び申しあげます。

今後も引き続き事故防止ならびに電車遅延となる事象の発生防止に努めてまいります。

なお、過去3年間の主な事故発生については、次のとおりです。

	2012年度	2013年度	2014年度
車両脱線	0	0	0
踏切障害	1	0	2
人身障害	0	0	0
道路障害	2	7	10
計	3	7	12

### (2) 災害(地震や暴風雨、降雪など)

2014年度は、報告すべき災害はありませんでした。

### (3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2014年度は、7件発生しております。

自動車の運転手が道を誤り、新設軌道内に侵入し立ち往生したもの、沿線火災、車両故障によるものです。

(4) インシデント（事故の兆候）  
2014年度、インシデントはありませんでした。

## 4. 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 安全重点施策

安全目標を達成するため、当社の安全管理体制において、安全重点施策を定めて安全施策を実施いたしました。

また、運転保安監査による指摘事項等の整備改善に取組み、引き続き更なる安全性向上を目指します。

安全重点施策の 主な内容	項目	2014年度 実績
	レール・枕木交換・併用軌道整備 (アスファルト舗装の更新等)	レール交換長 295m まくら木交換 1,101本 併用軌道整備 765m
老朽施設・設備の更新 ・軌道施設更新 ・踏切障害事故の予防	電路整備	電柱建替 4本
	信号整備	軌道回路更新 1回路
	踏切道の整備 踏切の視認性の向上等	遮断機交換 10基 踏切X形表示灯の LED化 2台
	保安度向上(車両)	運転状況記録 装置新設 18両

### (2) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、国・地方自治体からのご支援を頂き、特に軌道施設の更新に尽力しております。

2014年度は、安全に関連する投資額は修繕費を含めた総額で、5億5百万円になりました。



● 整備された併用軌道(北畠付近)



● レール交換(大小路—宿院間)

### (3) 人材教育・啓蒙活動

当社では、安全輸送のための知識・技能向上を図り安全に役立つよう、毎年度、テーマを決めて教育訓練を実施しています。

### (4) 異常時訓練

万が一の事態に備えて、毎年色々な事態を想定して復旧訓練等を実施しており、当年度におきましては、南海電鉄(株) 電力指令との合同訓練および住吉停留場において、転てつ器転換不良に備えた訓練を実施いたしました。



● 異常事態を想定した訓練風景

## 5. 当社の安全管理体制

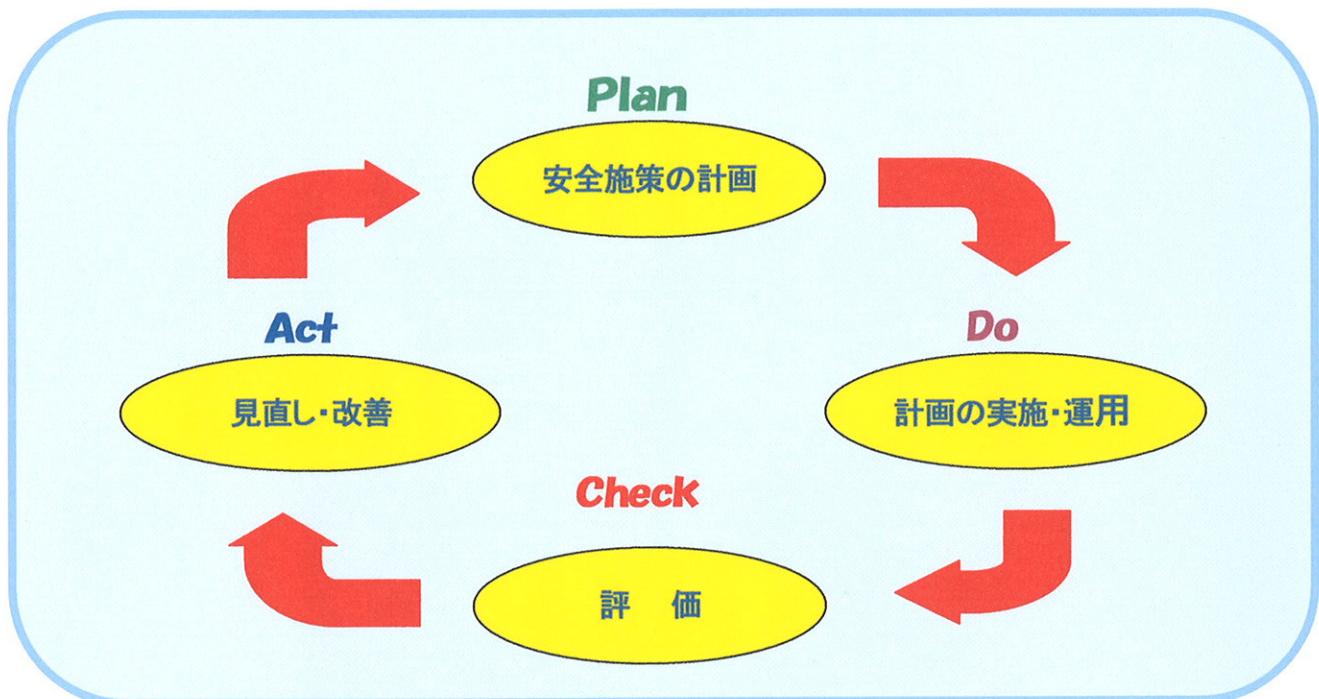
安全管理の質を向上するため、安全推進委員会で安全重点施策等、年度の計画を策定（P）、それぞれの部門で実行（D）、内部監査、四半期毎に安全推進委員会において安全重点施策の進捗確認（C）を行い、年度末には安全推進委員会においてマネジメントレビューを実施、継続的な改善（A）に取り組んでいます。

また、毎月1回「安全推進部会」、四半期に1回、役員及び管理職と従業員が安全について話し合う「安全ミーティング」を開催し、日常の業務に反映させ事故要因の排除と防止にも努めています。

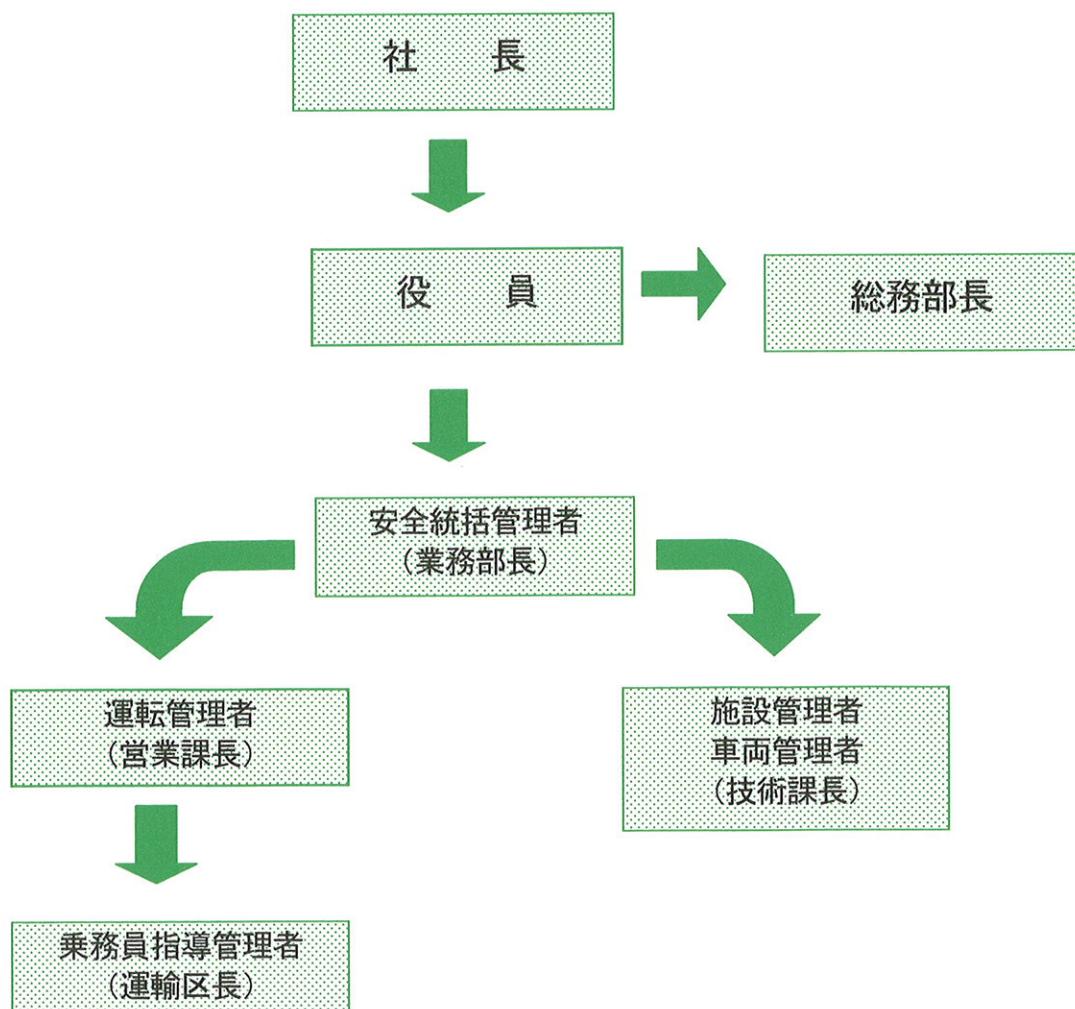


● 安全ミーティングの様子

## ● PDCAサイクル



## ● 安全管理体制



## 役職と役割

### ○社長

輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。

### ○安全統括管理者

輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

### ○運転管理者

安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。

### ○乗務員指導管理者

運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保特に関する事項を管理する。

### ○施設管理者

安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。

### ○車両管理者

安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

### ○総務部長

輸送の安全の確保に必要な設備投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画事項をとりまとめ、業務部長との調整を統括する。また、安全管理に係る監査を実施する。

## 6. 皆さまとのご連携について

### (1) 「お客さまとのふれあいを大切にしております」

2014年度は、6月に「あびこ道車庫」において「路面電車まつり」、10月に「あびこ道車庫」において「マッサン電車出発式」を開催し、多数の方々にご来場いただきました。

また、2月には石津北停留場の開業を記念し、セレモニーを催しました。



● マッサン電車出発式の様子



● 開業記念セレモニーの様子

## 7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

●電車運行等について 営業課 電話 06-6671-3080  
Fax 06-6674-1344

◇ 月～金 9:00～17:50 (土・日祝・年末年始を除く)

●施設関係等について 技術課 電話 06-6675-1375  
Fax 06-6675-1378

◇ 月～金 8:30～17:20 (土・日祝・年末年始を除く)

●上記以外について 総務課 電話 06-6674-5146  
Fax 06-6674-1344

◇ 月～金 9:00～17:50 (土・日祝・年末年始を除く)

### 各課共通

E-mail : haninfo@hankai.co.jp